

経営者のための やさしい企業年金教室

2024年8月1日

51 時限目：企業年金と人的資本経営

2024年に実施された財政検証は、日本の公的年金制度の将来について新たな見通しを示しました。この結果は、企業にとっても重大な影響を及ぼすものであり、経営者はこれを踏まえて自社の年金制度を見直し、強化する必要があります。公的年金給付水準の低下が懸念される中、企業年金の役割はますます重要となっています。今回は、財政検証の結果を踏まえ、企業年金と人的資本経営について解説します。

■ 人的資本経営

人的資本経営とは、従業員一人ひとりの価値を最大限に引き出し、企業の成長と競争力を高めるための経営戦略です。具体的には、従業員のスキルアップやキャリア開発、モチベーション向上を図るための施策を実施し、彼らの能力を最大限に発揮させることを目指します。これにより、企業は持続的な成長を実現し、変化する市場環境に対応することができます。

2022年5月に経済産業省から発表された「人材版伊藤レポート2.0」では、人的資本の重要性を認識し、人的資本経営へのより実践的な取り組みや事例をまとめています。企業の持続的な成長に向けて、新たな企業価値やイノベーションを創出するため、人材を人的資本として捉

え、積極的に投資をしていこうとする考え方を示しています。

レポートにある5つの共通要素のひとつである「従業員エンゲージメント」を高めるために、フィナンシャル・ウェルビーイングの向上への取り組みが有用であるとされています。

■ フィナンシャル・ウェルビーイング

フィナンシャル・ウェルビーイングとは、従業員が経済的に安定し、将来に対する不安を軽減することで、仕事に対する集中力や満足度を高める状態を指します。経済的な不安が少ない従業員は、精神的な健康も向上し、業務に対するパフォーマンスが高まります。経済的な安心を提供する企業は、外部から見ても魅力的に映り、優秀な人材の獲得にも寄与します。企業年金は、このフィナンシャル・ウェルビーイングを実現するための重要な手段です。

■ 企業年金の役割

2024年に実施された財政検証の結果、将来的な年金給付水準の低下が懸念される中で、企業年金の重要性は一層高まっています。フィナンシャル・ウェルビーイングを実現する企業年金の役割は、以下の3つです。

経営者のための やさしい企業年金教室

① **安心感の提供**: 企業年金が充実していることで、従業員は老後の生活に対する不安を軽減できます。この安心感が、業務に対する集中力やモチベーションの向上につながります。

② **エンゲージメントの向上**: 企業年金制度が整備されている企業は、従業員からの信頼を得やすく、離職率の低減につながります。従業員が長期的に働き続ける意欲を持つことで、企業の知識やノウハウが蓄積され、競争力の強化につながります。

③ **人材の獲得・定着**: 優れた企業年金制度を持つ企業は、優秀な人材を引きつけやすくなります。また、既存の従業員の定着率も向上し、採用コストの削減にも寄与します。

■ 企業年金制度の運用

企業年金制度を効果的に運用するためには、以下のような取り組みが大切です。

① 投資教育の充実

確定拠出型年金 (DC) を導入している企業にとって、従業員が適切な運用を行うためには投資教育は欠かせません。投資教育の充実は、従業員が自分の年金資産を効果的に運用し、将来の経済的な安心感を得るための重要な要素です。定期的なセミナーの開催、個別相談会の実施、オンライン教育ツールの活用により、従業員の金融リテラシー向上の機会を提供します。

② 年金制度の見直しと改善

企業年金制度は見直しを行い、従業員のニーズや市場の変化に対応できるように改善していくことが重要です。アンケート調査やヒアリングを通じて、従業員の意見や要望を把握し、年金制度や商品・サービスの改善に反映させます。年金制度や運用をより効果的に構築するため、年金制度に関する市場動向や法改正の情報をもつ専門家からのアドバイスを活用します。

■ 企業年金と人的資本経営

人的資本経営を推進する上で、企業年金制度の充実は重要な要素です。経営者としては、従業員に十分な情報を提供し、理解を深めるための投資教育を強化することが必要です。充実した企業年金制度を提供することで、従業員のフィナンシャル・ウェルビーイングを高めます。長期的な視点を持ち、従業員のニーズに応じた柔軟な制度設計とコミュニケーションを重視することで、持続的な企業の成長を実現しましょう。

企業年金相談センター (NPO 法人企業・団体
支援日本 FP 協議会) 志水 竜夫